

基準日：2020年3月19日

基準価額が大きく下落したファンドとその背景について（3月19日）

あおぞら投信株式会社

◆3月19日の基準価額の推移について

弊社投資信託の基準価額は、3月18日（現地）の世界株式市況の下落等を受け、以下に掲げる公募ファンドにつきまして前日比5%以上の下落となりましたので、基準価額下落の背景となった市況動向等、および今後の見通しと運用方針につきご報告いたします。（株価相場、為替相場につきましては、別表をご参照ください。）

◆基準価額が前日比5%以上下落したファンド

ファンド名	基準価額	前日比	騰落率
あおぞら・徹底分散グローバル株式ファンド (愛称:てつさん)	8,193円	-492円	-5.7%
あおぞら・世界配当成長株ベガ・ファンド(毎月分配型) (愛称:くらだし)	2,370円	-125円	-5.0%

◆基準価額下落の背景となった市況動向等

3月18日の世界の株式市場は再び世界中で大幅下落となりました。

・新型コロナウイルスの感染の広がりを巡り、トランプ米政権による大規模経済対策とFRB(米連邦準備制度理事会)による企業の資金繰り支援のCP(コマーシャルペーパー、企業が公開市場で発行する約束手形)買い取り再開を好感して急反発した前日の米国株式市場の流れを受けてアジア株式市場は買いが先行しましたが、時間外取引で米株価指数先物が急落するなど投資家のリスク回避姿勢が再び強まると、アジア株式市場は総じて大幅下落となりました。

・欧州では、域内での新型コロナウイルスの感染に収束が見えず、世界的な出入国制限や外出制限など経済活動の停滞/縮小に伴う企業業績下振れへの根強い警戒から、石油/資源や航空機/空運、旅行/娯楽関連銘柄を中心に売りが膨らみ、欧州を代表する600社で構成されるストックス600指数が7年ぶり安値を付けるなど、欧州株式市場は総じて大幅下落となりました。

・米国では、前日発表された大規模経済対策とFRBによるCP買い取り再開の効果が長続きせず、新型コロナウイルスの感染拡大による経済活動の停滞と企業業績の下振れへの根強い警戒から、損失が膨らんだヘッジファンドや個人投資家がマージンコール(信用取引の追加担保差し入れ請求)に対処するためのパニック的な損失覚悟の手仕舞い売りの連鎖が見られ、ダウ平均(ダウ工業株30種平均)の下げ幅が一時2,300ドルを超え、終値で3年ぶりに20,000ドルの大台を割り込むなど、主要3株価指数が揃って急反落しました。

■本資料は投資判断の参考となる情報提供を目的としたもので、投資勧誘を目的としたものではありません。■本資料に示されたコメント等は作成時点の見解であり将来予告なく変更されることがあります。■本資料は弊社が信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、弊社がその正確性・完全性を保証するものではありません。■「ご購入に際しての留意事項」を必ずご確認ください。■表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しております。

◆今後の見通しと運用方針

・ウィルス感染の中心が欧米に移った現在、各国が渡航禁止、国境封鎖、外出禁止といった非常手段をとる中で、その効果が確認されるまではまだ数週間はかかると思われ、当面の間は換金売りと、市中に十分な資金を供給しようとする中央銀行および各国政府の経済対策との綱引きで、乱高下が続くと予想されます。ただ一方で、恐怖指数といわれる米S&P500種のVIX(株価変動率)指数が、一時リーマンショック時を上回る80台半ばまで上昇したことや、マージンコールによる手仕舞い売りや解消しなければならない持ち高の売りは一旦クライマックスに近付いていると思われま。

・繰り返しになりますが、ウィルス感染はいずれ収束します。既に中国では感染者数は減少に転じており、日本も感染者の拡大は抑えられています。また、中国では徐々に生産活動が再開されつつあり、その実情が明らかになっていくにつれ、他の国においても損失の規模や回復への道のりについて具体的に想定することができるようになって考えられ、そうなれば現在の不透明感は徐々に解消に向かうことが期待されます。

・市場は今後のウィルス感染の広がりや経済的な影響の度合いを見極めるため、下値を探りつつ、本来の居どころを見つけることで、いずれ売られ過ぎは修正されると考えられます。データが取得できる1926年以降に米国株式市場で起こった20%を超える下落の後には、1年後、3年後、5年後のいずれの期間においても長期の株式市場の平均リターンを超えるリターンあげていることが分かっています。見切り売りをしなければならぬ投資家がいることで、しばらく厳しい局面が続きますが、時間を味方につけることができる投資家が最後には勝利すると考えられます。株価が下がれば長期的な株式市場の期待リターンは上昇するという基本的な考え方にに基づき、今後も各ファンドの運用の基本方針に基づき運用を継続して参ります。

(以下、別表)

【グローバル株式相場】

指数名称	3月17日	3月18日	騰落幅	騰落率(%)
米国S&P500指数(3/17-3/18)	2,529.19	2,398.10	-131.09	-5.2%
英国FTSE100指数(3/17-3/18)	5,294.90	5,080.58	-214.32	-4.0%
ドイツDAX指数(3/17-3/18)	8,939.10	8,441.71	-497.39	-5.6%
日本TOPIX指数(3/17-3/18)	1,268.46	1,270.84	2.38	0.2%
上海総合指数(3/17-3/18)	2,779.64	2,728.76	-50.89	-1.8%

※現地通貨ベース(配当含まず)、小数点以下第3位四捨五入

【為替相場】

通貨名称	3月17日	3月18日	変化幅	変化率(%)
日本円/米ドル	107.70	108.08	0.38	0.4%
日本円/ユーロ	118.44	117.95	-0.49	-0.4%

※為替レートは、米ニューヨーク市場17時時点のレート。(出所:ブルームバーグ)

※小数点以下第3位四捨五入、3月17日-3月18日

■本資料は投資判断の参考となる情報提供を目的としたもので、投資勧誘を目的としたものではありません。■本資料に示されたコメント等は作成時点の見解であり将来予告なく変更されることがあります。■本資料は弊社が信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、弊社がその正確性・完全性を保証するものではありません。■「ご購入に際しての留意事項」を必ずご確認ください。■表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しております。

【ご購入に際しての留意事項】

◆投資信託に係るリスクについて

投資信託は預貯金と異なります。本ファンドは、値動きのある有価証券等に投資を行いますので、基準価額は変動します。また、為替の変動による影響を受けます。したがって、投資家の皆さまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。本ファンドの信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資家の皆さまに帰属します。

また、投資信託は、投資信託毎に投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等が異なることから、リスクの内容や性質が異なりますので、詳しくは、「投資信託説明書(交付目論見書)」の「投資リスク」を必ずご覧ください。

<投資信託に係る費用>

◆投資者が直接的に負担する費用

購入時手数料	3.85% (税抜3.5%) を上限として販売会社毎に定める率を乗じて得た額とします。
換金時手数料	上限1.10% (税抜1.00%) を上限として販売会社毎に定める率を乗じて得た額とします。
信託財産留保額	なし

◆投資者が信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用 (信託報酬)	純資産総額に対して上限年率1.8835% (税込)
その他費用	上記以外に保有期間等に応じてご負担いただく費用があります。投資信託説明書(交付目論見書)、契約締結前交付書面等でご確認ください。

※上記当該手数料等の合計額については、ファンドの保有期間に応じて異なりますので、表示することができません。

※上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。

※費用の料率につきましては、あおぞら投信が運用するすべての投資信託のうち、投資家の皆さまにご負担いただく、それぞれの費用における最大の料率を記載しております。本資料において記載した各ファンドの料率とは異なる場合がありますのでご注意ください。

《本資料のご利用にあたってのご留意事項等》

■本資料は、あおぞら投信株式会社(以下「当社」ということがあります。)が作成した情報提供資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。取得の申込みに当たっては、投資信託説明書(交付目論見書)等をお渡しいたしますので必ず内容をご確認の上、ご自身でご判断ください。■投資信託は値動きのある有価証券等(外国証券には為替リスクもあります。)に投資するため、基準価額は変動します。したがって、投資元本および分配金が保証された商品ではありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報等に基づいて作成されていますが、当社がその正確性・完全性を保証するものではありません。■本資料に記載された過去の実績は、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。投資した資産の価値の減少を含むリスクは、投資信託をご購入のお客さまが負うこととなります。■本資料に記載された市況や見通し(図表、数値等を含みます。)は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来の動向や結果を示唆あるいは保証するものではありません。また、将来予告なしに変更する場合もあります。■投資信託は預金や保険契約と異なり、預金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象とはなりません。また、証券会社以外でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。■投資信託は金融機関の預金と異なり、元金および利息の保証はありません。

あおぞら投信株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第2771号
加入協会 一般社団法人投資信託協会

■本資料は投資判断の参考となる情報提供を目的としたもので、投資勧誘を目的としたものではありません。■本資料に示されたコメント等は作成時点の見解であり将来予告なく変更されることがあります。■本資料は弊社が信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、弊社がその正確性・完全性を保証するものではありません。■「ご購入に際しての留意事項」を必ずご確認ください。■表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しております。